

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 国語】

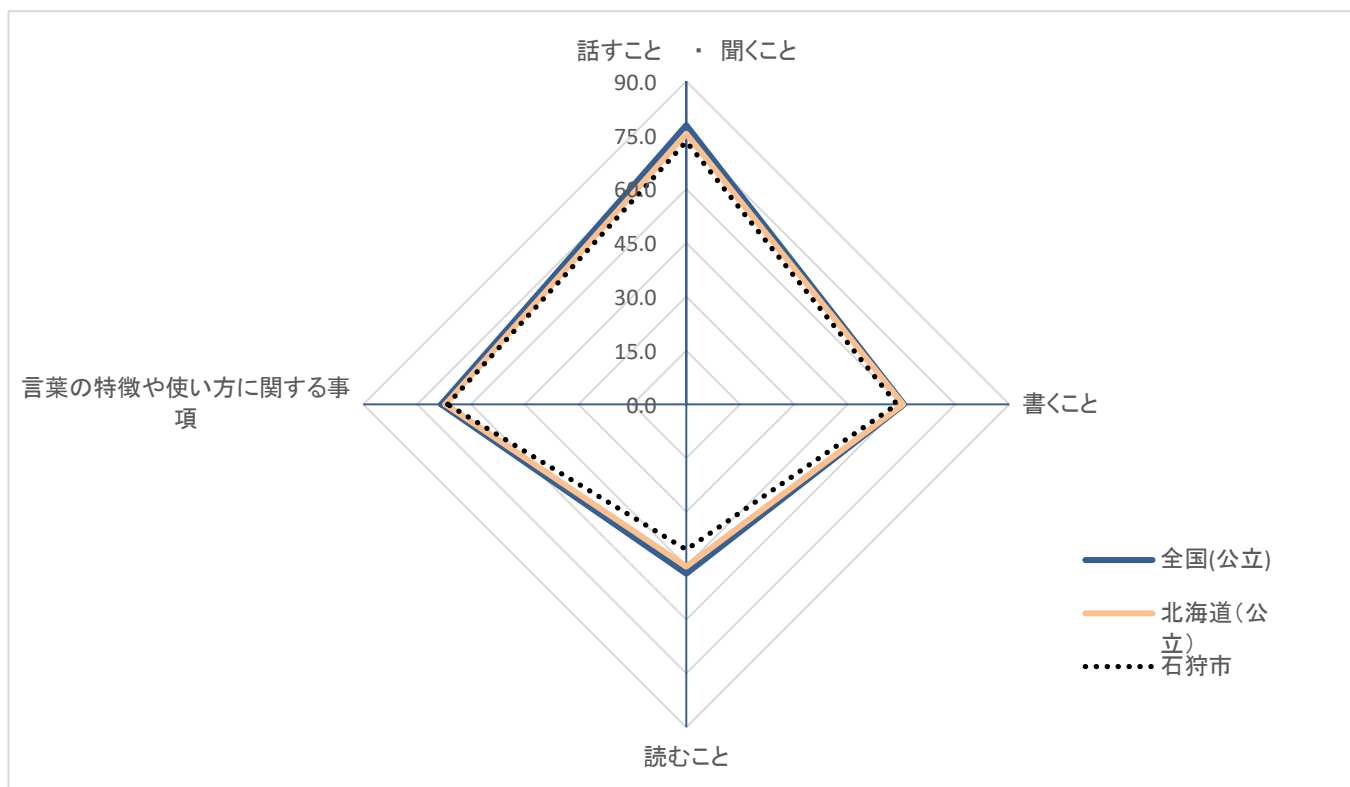
□ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.1問/14問	64.7%
全道(公立)	8.9問/14問	63.3%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆		○		

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 国語科の概要 □

- ◇ 国語の正答率は、全国平均よりやや低く、全道平均とほぼ同様（下位）の結果となりました。令和元年度との比較では全国との差はやや広がる結果となりました。
- ◇ 領域別では、「話すこと・聞くこと」は全道とほぼ同様（下位）であり、全国よりやや低い結果でした。「書くこと」は全道・全国とほぼ同様（下位）であり、「読むこと」は全道よりやや低く、全国よりも低い結果でした。また、「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、全道と同様、全国とほぼ同様（下位）の結果でした。
- ◇ 問題形式別の正答率では、「選択式」は全道とほぼ同様（下位）であり、全国よりやや低い結果でした。「短答式」は全道・全国よりやや低い結果でした。また、「記述式」は全道とほぼ同様（下位）であり、全国よりやや低い結果となりました。

国語

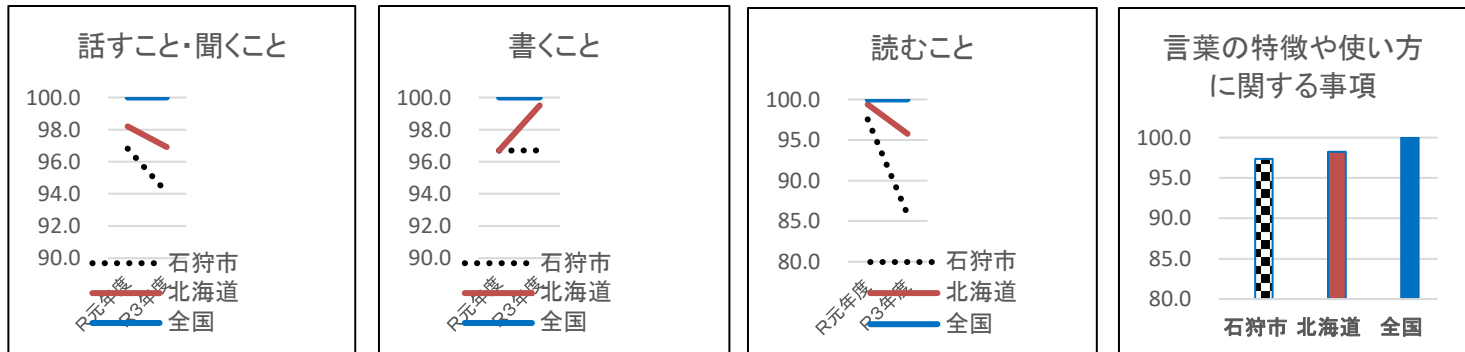
○調査問題の内容

学習指導要領に示されている〔知識及び技能〕，〔思考力，判断力，表現力等〕の内容に基づき，全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお，小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- ・津田梅子について調べて紹介する【スピーチ】で，どのような構成で話しているか適切なものを選択する。
- ・面ファスナーについて書かれた【資料】を読み，文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけ，面ファスナーのくっつく仕組みを書く。
- ・自分の考えが伝わるように，反対する理由を明確にして，【文章の下書き】の ---- 部分を詳しく書き直す。
- ・【文章の下書き】の中の —— 部分を漢字を使って書き直す。
- ・設問数は14問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回調査との比較（但し，言葉の特徴や使い方に関する事項は本年度のみ）



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は，全道とほぼ同様（下位），全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は，全道・全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は，全道よりやや低く，全国より低い傾向を示しています。
- ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」は，全道と同様，全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1三	津田梅子についての【スピーチ】の練習の□の部分で話す内容として適切なものを選択する。	目的や意図に応じ，資料を使って話す	話すこと 聞くこと	75.8%	78.1%	81.0%
2二	面ファスナーに関する【資料】の文章の中の「より」と同じ使い方として適切なものを選択する。	思考に関わる語句の使い方を理解し，話や文章の中で使う	言葉の特徴や使い方に関する事項	86.5%	86.4%	87.5%
3三(1) ア エ	丸山さんの「文章の下書き」の中の —— 部ア（ころがっている），エ（げんいん）を漢字を使って書き直す	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9% 75.4%	79.6% 77.0%	78.3% 79.0%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2三	面ファスナーに関する「資料」を読み，メストラルは何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーを作り出したのかをまとめて書く	目的に応じ，文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つける	読むこと	28.3%	32.0%	34.4%
2四	面ファスナーに関する「資料」を読み，面ファスナーが国際宇宙ステーションの中でどのように使われているのかをまとめて書く	目的を意識して，中心となる語や文を見つけて要約する	読むこと	22.9%	27.4%	29.7%

【指導の改善にあたって】

【問題番号2三 読むこと】

- ・ 図表やグラフなどを含む文章を読む際には、文章中に用いられている図表などが、文章のどの部分と結びつくのかを明らかにし、文章と図表などとの関係を捉えて読むことが重要です。その上で、必要な情報を結びつけて内容を理解することができるように指導することが大切です。
また、学習指導にあたっては、目的に応じて文章と図表などを結びつけるなどして必要な情報を見つける指導の充実が大切です。

【問題番号2四 読むこと】

- ・ 要約するとは、文章全体の内容を正確に把握した上で、元の文章の構成や表現をそのまま生かしたり自分の言葉を用いたりして、文章の内容を短くまとめることです。要約する目的を意識して、文章全体から内容の中心となる語や文を選び、要約の分量などを考えて要約することができるように指導することが大切です。

【教科（国語）に関する意識（児童質問紙項目43～51より）】

(43)	「国語の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の58.7%、全国の58.4%に対して石狩市は57.6%で、全道より1.1ポイント、全国より0.8ポイント低くなっています。
(44)	「国語の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の93.8%、全国の93.2%に対して石狩市は92.5%で、全道より1.3ポイント、全国より0.7ポイント低くなっています。
(45)	「国語の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の84.9%、全国の84.2%に対して石狩市は83.1%で、全道より1.8ポイント、全国より1.1ポイント低くなっています。
(46)	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の92.0%、全国の91.8%に対して石狩市は92.3%で、全道より0.3ポイント、全国より0.5ポイント高くなっています。
(47)	「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか」に対する肯定的な回答は、全道の81.2%、全国の82.2%に対して石狩市は80.3%で、全道より0.9ポイント、全国より1.9ポイント低くなっています。
(48)	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」に対する肯定的な回答は、全道の63.4%、全国の63.8%に対して石狩市は65.1%で、全道より1.7ポイント、全国より1.3ポイント高くなっています。
(49)	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えとそれを支える理由との関係が分かるように書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」に対する肯定的な回答は、全道の70.9%、全国の71.6%に対して石狩市は72.4%で、全道より1.5ポイント、全国より0.8ポイント高くなっています。
(50)	「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり自分の考えを広げたりしていますか」に対する肯定的な回答は、全道・全国の74.3%に対して石狩市は72.2%で、全道・全国より2.1ポイント低くなっています。
(51)	「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道・全国の81.3%に対して石狩市は81.8%で、全道・全国より0.5ポイント高くなっています。関連して、3問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の6.7%、全国の6.4%に対して石狩市は4.4%で、全道より2.3ポイント、全国より2.0ポイント低くなっています。

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【小学校 算数】

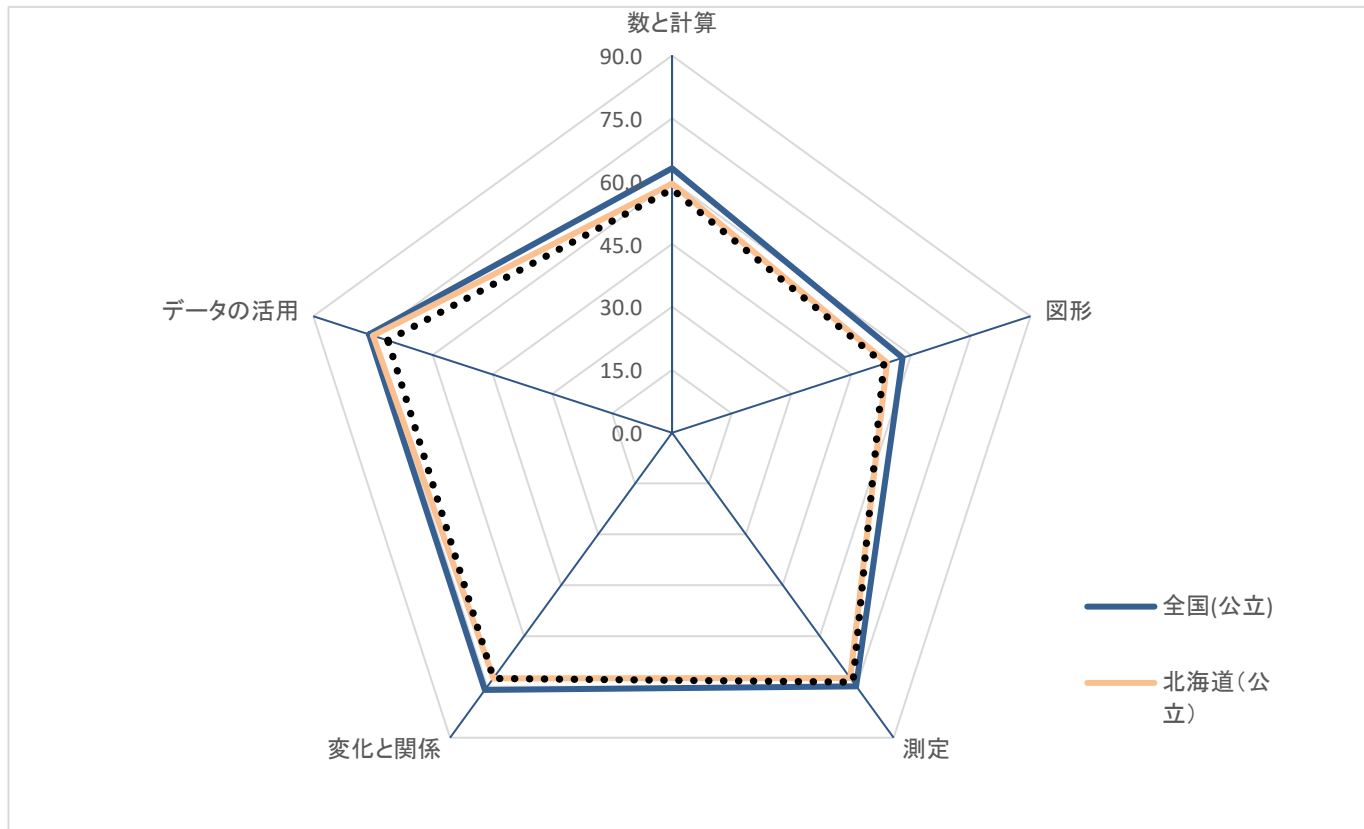
□ 正答率の状況 □

	算数	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	11.2問/16問	70.2%
全道(公立)	10.8問/16問	67.5%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
	石狩市 : ○ 全国 : ☆				☆		○		

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 算数 領域等の平均正答率の状況 □



□ 算数科の概要 □

- ◇算数の平均正答率は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い結果でした。令和元年度との比較では、全国との差はやや縮まりました。
- ◇領域別では、「数と計算」で全道とほぼ同様（下位）で全国より低く、「図形」で全道と同様で全国よりやや低い結果でした。また、「測定」では全道とほぼ同様（上位）で全国とほぼ同様（下位）、「変化と関係」では、全道と同様で全国よりやや低く、「データの活用」では全道・全国よりやや低い結果でした。
- ◇問題形式の正答率では、「選択式」で全道とほぼ同様（下位）で全国よりやや低く、「短答式」が全道と同様で全国よりやや低い結果でした。また、「記述式」は全道よりやや低く全国より相当低い結果となりました。

算数

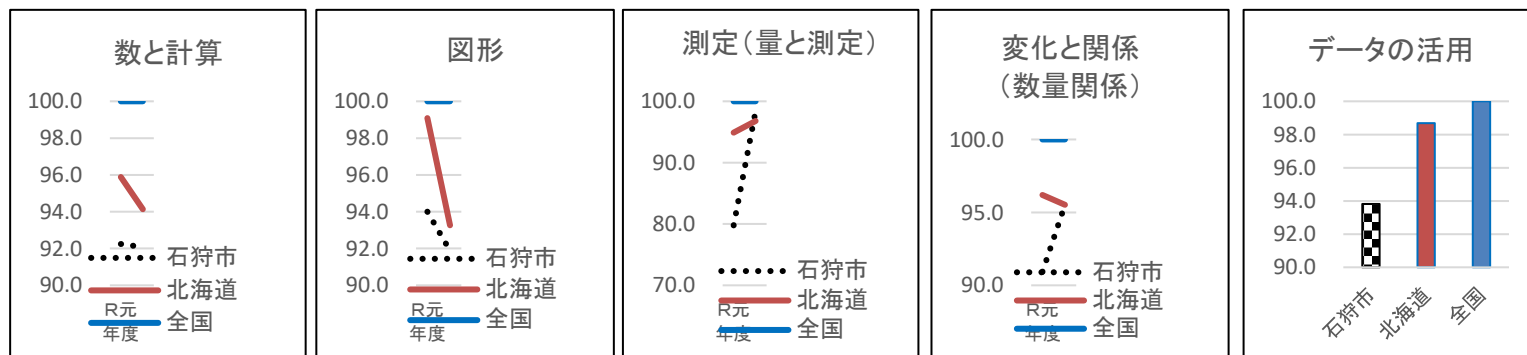
○調査問題の内容

学習指導要領における「数と計算」、「図形」、「測定」、「変化と関係」、「データの活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、小学校第5学年までの内容となっています。

(例)

- ・二つのコースの道のりの差の求め方と答えを書く。
- ・直角三角形を組み合わせた図形の面積について分かることを選ぶ。
- ・500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く。
- ・「114」は二次元の表のどこに入るかを選ぶ。
- ・設問数は16問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回調査との比較（但し、データの活用は本年度のみ）



- ・「数と計算」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は、全道と同様で、全国よりやや低い傾向にあります。
- ・「測定」の領域は、全道とほぼ同様（上位）で、全国とほぼ同様（下位）の傾向にあります。
- ・「変化と関係」の領域は、全道と同様で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「データの活用」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1 (2)	500mを歩くのに7分間かかることを基に、1000mを歩くのにかかる時間を書く	速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる	変化と関係	87.6%	85.8%	86.7%
1 (4)	午後1時35分から50分後の時刻を書く	条件に合う時刻を求めることができる	測定	87.2%	87.9%	89.2%
3 (1)	・6年生の本の貸し出し冊数を、棒グラフから読み取って選ぶ	棒グラフから、数量や項目間の関係を読み取ることができる	データの活用	94.6%	95.1%	95.8%
3 (2)	・学年ごとの本の貸し出し冊数について、棒グラフから分かることを選ぶ			89.1%	89.2%	90.7%

【課題の見られる設問例】

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2 (3)	二等辺三角形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを書く	複数の図形を組み合わせた図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、面積の求め方と答えを記述できる	図形	39.8%	43.6%	46.0%
3 (4)	帯グラフから、割合の違いが一番大きい項目を選び、その項目と割合を書く	帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる	データの活用	43.7%	49.8%	52.0%

4 (3)	30mを1としたときに12mが0.4に当たるわけを書く	小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準数を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる	数と計算	41.3%	46.7%	51.5%
-------	-----------------------------	--------------------------------------------------------------------	------	-------	-------	-------

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号2 (3) 図形】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本問では、図形を構成する要素などに着目し、面積を求めようとする図形の辺の長さや底辺と高さの関係を捉え、面積の求め方について筋道を立てて説明できることが求められています。指導にあたっては、求積のために、必要な情報を図形から選び出す活動などを取り入れることが考えられます。 <p>【問題番号3 (4) データの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本問では、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を示された図形の求め方を記述することが求められています。指導にあたっては、身の回りの事象について、その事象の因果関係や傾向を漠然と捉えるだけでなく、データに基づいて判断する統計的な問題解決の方法を知り、その方法で考察していくことができるようにすることが重要です。その際、目的に応じて、データを集め、観点を決めて分類整理し、表やグラフからデータの特徴や傾向を読み取ることができるようにすることが大切です。 <p>【問題番号4 (3) 数と計算】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本問では、小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述することが求められています。指導にあたっては、整数を用いた倍の意味を捉え直し、小数を用いた倍についても、基準量を1としたときに比較量が幾つに当たるかという意味について理解できるようにすることが重要です。その際、数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目できるようにすることが大切です。

【教科（算数）に関する意識（児童質問紙項目52～60より）】

(52)	「算数の勉強は好きですか」に対する肯定的な回答は、全道の65.0%、全国の67.8%に対して石狩市は、66.0%で、全道より1.0ポイント高く、全国より1.8ポイント低くなっています。
(53)	「算数の勉強は大切だと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の93.5%、全国の93.8%に対して石狩市は93.8%で、全道より0.3ポイント高く、全国と同様となっています。
(54)	「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答は、全道の82.8%、全国の84.6%に対して石狩市は86.3%で、全道より3.5ポイント、全国より1.7ポイント高くなっています。
(55)	「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」に対する肯定的な回答は、全道の92.1%、全国の92.6%に対して石狩市は93.6%で、全道より1.5ポイント、全国より1.0ポイント高くなっています。
(56)	「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の71.7%、全国の73.9%に対して石狩市は73.4%で、全道より1.7ポイント高く、全国より0.5ポイント低くなっています。
(57)	「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか」に対する肯定的な回答は、全道の81.6%、全国の82.7%に対して石狩市は85.7%で、全道より4.1ポイント、全国より3.0ポイント高くなっています。
(58)	「算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」に対する肯定的な回答は、全道の89.6%、全国の89.0%に対して石狩市は93.2%で、全道より3.6ポイント、全国より4.2ポイント高くなっています。
(59)	「算数の授業で問題の解き方や考えが分かるようにノートに書いていますか」に対する肯定的な回答は、全道・全国の91.9%に対して石狩市は93.2%で、全道・全国より1.3ポイント高くなっています。
(60)	「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について「最後まで努力した」との回答は、全道の78.0%、全国の79.9%に対して石狩市は77.3%で、全道より0.7ポイント低く、全国より2.6ポイント低くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の7.9%、全国の6.7%に対して石狩市は5.5%で、全道より2.4ポイント、全国より1.2ポイント低くなっています。